

令和4年度 第3回中堅・中小企業等のDX促進に向けた検討会 議事要旨

1. 会議の概要

日時：令和5年3月1日（水） 13時00分～15時00分

場所：WEB開催

2. 議事録

(1) 討議

○ 手引き（改訂案）に関すること

- パーパスマネジメントに関するコラムの追加及び事例集に改訂については賛成である。一方、デジタル人材の育成・確保に関する本文では、すべての人材について企業側で揃える必要はないと記載している一方で、コラムにおいては、自社で人材を揃えることができるかと表現されており、つながりが悪い。
- サブタイトルを目次に追加したほうが良い。また、3ページ目のパーパスマネジメントとDXについて、パーパスがしっかり記載できているものの、5年後、10年後どうなりたいかといった具体化したビジョンはもう少し内容を充実すべきである。
- 「パーパスマネジメント」という言葉を使うと、ハードルが高いと感じる。このコラムのタイトルを変えるべきではないか。
- DXを進めていくために、「パーパスをもってビジョンに向かっていく必要がある」という文言に変えることを検討したい。
- パーパスとビジョンの区別をわかりやすく整理する必要がある。また、外部人材の活用、伴走型支援の記述の直後に、デジタル人材の育成のコラムがある。
- サブタイトルの追加、アクションプラン及び図解など見やすくなる要素が増えており、関心度合の高い経営者にとって読み進めていきたい気持ちになりやすい。一方、関心度合の低い経営者にとっては、75ページを読み切るためには相当なエネルギーが必要ではないかと懸念している。事例集も載っており、答えを見出す印象につながる手引きになっていくことが望ましい。
- 手引きを読んでもらうためには、もう少し工夫が必要と感じる。例えば、内容をもう少し縮めるか、映像やコンテンツで興味を引くなどが考えられる。
- 主に内容の記述の仕方、見せ方、それから読者層とのレベルの合致度が課題になっているのではないかと考えられる。
- サブタイトルは目次にもあったほうがよく、もう少し目立たせる工夫が必要である。
- 経済産業省による手引きの広報活動として、各チャンネルを通してただ配るだけでなく、一緒に勉強会を進めていく方法などを検討すべきではないか。
- データで見たい経営者、あるいは紙ベースで見たい経営者はそれぞれ存在する。
- 中堅・中小企業等の経営者のDXに対するマインドセットチェンジが大事であり、行動

変容を促す、行動を起こさせるための「手引き」の構成・内容にすべきである。

- 大学でリカレント教育を行っており、デジタルツールやデータ分析など半年間基礎から応用編まで、テキストと実践の場を伴走して伝えるという取組を行っている。結果、16人が持ち帰ってツールを導入することになった。受け手がしっかりと興味をもてば、のめりこむ土壌はあると思う。いかに興味をもってもらうかが大事。

○ DXセレクション2023の公表に関すること

- 優良事例の選定について議論を行った。

(2) 今後の進め方

- 3月16日にDXセレクション2023表彰式を開催
- 3月中下旬に「DXセレクション2023選定企業レポート」を公表予定
- 3月下旬に「中堅・中小等企業向け『デジタル・ガバナンスコード』実践の手引き 2.0」を公表に向けて作業を進めていく。

お問合せ先

商務情報政策局 情報技術利用促進課

電話：03 - 3501 - 2646